

附属機関等の名称 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 安曇野市交流学習センター施設検討委員会 第2回公聴会 |
| 2 | 日時 | 平成18年10月22日 午後4時～午後6時30分 |
| 3 | 会場 | 豊科ふれあいホール |
| 4 | 出席者 | 益子会長、草深副会長、丸山委員、中島委員、中田委員、中嶋委員、細萱委員、細川委員（まちづくり推進課長）、松枝委員（社会教育課長） |
| 5 | 市側出席者 | 望月教育長、小林教育次長、曾根原文化振興係長、財津文化振興係主査、堀文化振興係主任、丸山豊科教育課生涯学習係長 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 参加者 | 35人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成18年10月27日 |

1. 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) あいさつ
- (3) 報告書(案)の概要説明
- (4) 意見交換
- (5) 検討委員会各委員からあいさつ
- (6) 今後のスケジュールについて
- (7) 閉会

2. 審議概要

【検討委員会が受けた付託、検討、結果の概要説明。】資料：報告書（案）

【委員会人員構成について説明。】

〔意見〕

安曇野をこよなく愛する者として一言ご意見したい。まず最初に、検討にあたられました委員の皆さん、非常に長い間検討にあたられ調査や研究をされてこのような結果を出されたことに非常に敬意を表する。しかし今回の検討委員会の進められ方そのものについて私は非常に疑問を感じている一人である。総合的に申し上げると新聞報道や傍聴した友人の話聞き率直にそう思っている。ご承知だと思うが去年の12月からこの春にかけて、学校給食センター事業を三郷豊科明科が合併特例債を見込んで駆け込み事業をした経緯があり、真摯に検討委員会も設けることなく検討委員に計る事無く施策するというのは、住民意向を無視した行政の進め方に市民の反発を非常に招いたという経緯がある。交流学習センター施設構想も三郷豊科穂高で同様に合併特例債の駆け込み事業があり、ご承知の新市まちづくり計画の基本方針としている住民と行政が協働し共に担う施策つくりと非常にかげ離れた検討委員会であった。しかもこの計画案の中身は非常に綺麗な修飾の文章を並べてその必要性を主張したいわば先に建設ありきと言わざるを得ない。検討委員の意見ゼロからの議論という意見に支持をする。時代は少子高齢化や国・地方の財政破綻など荒廃が進み先行き不安が大きい。この時になって事業の規模や重要性、経費対効果などを時間をかけて深い議論を重ねて身の丈にあった諸策を導き出すべきではないか。答申を急がせず公聴会の意見集約を基に再度議論をしてはいかか。また、財源は予算50億に対して基金が11億、32億の合併特例債は借金となる。ツケを将来に残す事でどうしても建てる必要があるのなら積立金を更さらにして賄う案も検討されたり、図書館の運営も市民の運営委員会を

作ったりして運営経費を抑えていくといった事も併せて考えていったらどうかと思う。私は問題点を考える
と建てるべきではないと結論付ける他無いと結論付けざるを得ない訳だが、やっぱり建設案という事で持
ってこられた。この辺が非常に疑問。

(説明)

住民の強い要望を受けての検討である。この検討委員会の中ではそのことも検討され、建てる、建てない、
というよりはどのような要望があるのか、どのように応えていくかと検討した結果がこのようになった。さ
らに盛り込んでいけるものがあれば盛り込んでいきたいと思う。

〔意見〕

わかりました。ただし、そういう住民意向を行政の方から問題提起され、今、時代を考えると、この図書館、
交流学习センターとか立派なものがあつたらいいかと市民に聞けばそりゃああつた方がいいよなど、そのよ
うな事は考えられる。しかし今の時代をそういう感覚で捉えてはいけない。安曇野にふさわしいという観点
だけ、基本的な感性がそういう事であつてはいけないと思う。安曇野は荒廃が進んでいる。開発が進み安曇
野の財産である景観が全部損なわれようとしている。そういった観点を持たないと近い将来安曇野は安曇野
といえなくなると私は非常に憂いている。私は市将来構想策定委員だったが、いい安曇野市になるようにと
の思いが全然達成できていない。市民の声をよく聞いて下さい、行政の方。検討委員会の方には非常に失望
し非常に虚しく発言する気力も無いとの話しを聞いた。提言を受けて答えるだけという検討委員会の責任者
の答弁に非常に疑問を抱く。そう思わざるを得ない。

(説明)

最初に申しあげたが、市民の施設という事を念頭に置き検討をしてきた。また、市民の為に必要であると話
し合いで結論づけられたので進めて参った。

〔意見〕

検討委員会の方々が一生懸命取り組まれてこの事に対してよくやってくれたことはよくわかる。これが本当
に実施できたら素晴らしい。大いに賛成。しかし急ぐことはない。今、安曇野市になって今何をやらなけれ
ばならないか。目の前の大きな問題、新庁舎や日赤病院の問題がある。そして交流学习センター、これは誰
もが望むことだが、将来的には市民的なホール、市民会館という形も想定されるならばそれに向けて取り組
んでいくこと、それは既存の施設で間に合いはしないか。中央図書館を穂高につくり他の地域もできるだけ
平等に併せてたように同じような満足のいく施設をとまっていると思うが、子育て支援センターといったも
のがこれまであつた施設を利用しながら充実させていくことはできるのではないか。お金を建物より充実に
かけた方がずっと子ども達はよりよく育っていくのではないか。この計画は立派ですが是非急ぐことはない。
我慢できることは我慢して、よりよい安曇野市になるようにして欲しい。

(説明)

建物でなく必要な機能から検討した。三郷の場合、児童館がひっ迫している、それでは考えようということ
で、そこに付随する機能は必要かと検討し、決まってきたもの。決して急いで決めた訳ではないことにはご
理解を頂きたい。

〔意見〕

この検討委員会に対して文句をつけているのではない。今ある施設をより充実させていく方が。今は合併し
たから建てなければいけないというものではないと思う。このことについて私達は大いに検討する必要がある。
る。

(説明)

既存施設を使う件につきましては、私共は視察・調査をさせて頂いた。とても子ども達を安心して預ける事
ができる施設が見つからなかったのが現状だった。既存施設を使いお金をかけないでやりたいという事は検
討委員会でも強く願ったことである。

(説明)

只今のお二人のご発言について市の立場から少しお話したいと思う。急ぐことはないというお話はごもつと
もだと思ふ。市としては、検討委員会で検討して頂いた内容、公聴会を経た最終的な報告書を頂戴する。そ

れに基づいて施策を展開するかは市の責任である。本日こういったご意見があった事を参考にさせて頂きたいと思う。お金の話ですが、市では50億を使うつもりはない。検討委員会の中では様々な議論が行われ、提言も頂いたし、当初より大分スリムになったと思う。

〔意見〕

安曇野市の新市将来構想に私は非常に感銘を受け大いに期待した。ところが残念ながらその後の経過を見ると、協働そのものができていなくて失望ばかり。検討委員会が幾つもできたが、その在り方を見ていると非常に旧態依然の行政の姿がありありと見える。協働のまちづくりなどほど遠い。行政と市民が対等の立場で話しをするのが協働だと思う。ところが公募委員の方が一生懸命発言しても行政の出してきた計画通りにことが進んでしまう。しかも行政の方である方が公募委員の皆さんにも出てきてもらうがやかましい方には出てきてもらいたくないとある方から耳にしたが、今の行政の在り方を如実に示しているものではないかと。失望した。私もかつてある市を視察したことがあるが、その地域審議委員会の公募ではやかましい人には出てもらいたくないから私共の考えた通りの委員の皆さんに参加してもらおうという話を聞いた。私はこの市は将来駄目だと思った。またある市では見事に協働化が進んでいた。プロポーザルの入札に市民の委員が48人参加している。総数は50人。2人が行政に携わっている人。いろいろな人がプロポーザルの入札に参加して、市の方では6ヶ月間の勉強会をしたそう。そういう時間をかけて市民が参加していく協働のまちづくりが見事にとれた。今、交流学习センター施設を作る点についても、私はお聞きしたいが、今一体安曇野市には何が最初に必要なのか。皆一体感一体感と言いますが、私は市民の一人として、一番必要なのは公共交通機関の問題。明科から交通機関を使って来るには松本経由大糸線を使わないといけない。明科から穂高にすぐ行ければ便利だし一体感もあると思う。交流学习センター施設のように何十億使う事ではないので交通機関について一日も早く立ち上げて欲しい。市民の役に立つ行政をやって頂きたいと思う。また、市民に計画をきちんと示して欲しいと思う。必要で待っているものが何年後かの示しが無い。多くの住民の意見を聞き、もっと多くの住民の直接の参画を検討して欲しいと思う。

（説明）

交通網につきましては利便性だけでなく安曇野市全体を考えて頂けるよう盛り込んである。今回の計画については、かなり明確に少しずつだが打ち合わせをしていった。市民の参画だが本日の公聴会でもいろいろなご意見を頂戴していこうと思う。市民の為のものという理念はいつも念頭に検討させて頂いている。

〔意見〕

質問です。7頁と9頁の資料を見比べた時に、問題点として蔵書が少ないということがありますが、岡谷市や茅野市は安曇野市と同じ位の蔵書数でも利用率が高いが、この辺りの考察を検討委員会の方でされていたら聞かせてほしい。

（説明）

岡谷市や茅野市の図書館の細かな事については把握していない。今回は施設を検討して頂く立場という事で、踏み込んで議論していない。それについては図書館協議会がございましてそちらで今後対応してまいりたいと思う。検討委員会ではこういった資料から蔵書数の少なさ等今の図書館の根本的な問題を確認して頂き、後に出てくる図書館はどうあるべきかという提案になっていったという事である。

〔意見〕

そういう事を分析することによって、あるべき姿というのも変わってくると思うし、既存の施設でもすごい図書館ができるかもしれない。新しい図書館ができるにしても利用されてなんぼだと思うので、その辺を考えていった方が良く思う。

（説明）

施設がきちんと整備されていない事、職員体制（人員・教育）が、現在の安曇野市の状況では市民の皆さんに満足頂けるものではないと思う。きちんとしたサービスが行われている所は施設・人員がしっかりしている事は事実。今後私共も様々把握させて頂き、努力してまいりたいと思う。

（説明）

この検討委員会の中でも図書館の利用時間帯などの話も出た。皆さんに利用して頂きやすい事を考えてきた。

このことをお伝えしておきたいと思う。

〔意見〕

報告書案 20 頁「市全体の体系的な資料収集を考慮」とあるが、集めるべき資料とは何を想定していらっしゃるのか。

（説明）

図書館の場合は行政資料でなく民間の歴史資料そういったものを重点的にとらっている。

〔意見〕

安曇野市の中で一番体系的な資料のひとつとして行政文書がある。昭和合併以前に作られた旧町役場の文書、その中で歴史的価値があるといわれるものを後世に残していくいわゆるアーカイブの考えがあり得ると私は考える。第一回の検討委員会の中で公文書館についての説明がなされているはずだがその後草案が出てこない。これは一体どういう事か。お伺いしたい。

（説明）

行政諸資料につきましてはこの図書館では扱わないということで、それはまた市の方で考えて頂くものと思う。

〔意見〕

これから意見になるが、複合施設として学習をしていく、市の出している行政資料だけでなく行政文書をついてものを考えていくのもひとつの方法ではないかと。それは市民からの税金で作った文書である。それを適正に保存していないのは税金の無駄遣いであるだけでなく市民に対する背信行為であると。それだけは申し上げておきたい。複合施設の中で私はライブラリとアーカイブの両設であるべきと考える。

（説明）

申し伝えておく。

〔意見〕

24 頁 2. 交流学習センターとしての複合機能のあり方という項目があるが、その中で、「安曇野市の生涯学習の質」とあるが、内容はこういったものか。

（説明）

質という部分については具体的に議論された部分ではない。中央図書館に地域学習館が併設される、それは学習される方にとって都合が良い。そうすると生涯学習の質が高まる、そういった思想をイメージしている。

〔意見〕

図書館のあり方というのが取り沙汰されていて、その中で生涯学習という事に関してはビジネス支援をなさいという指針が日本には出ている。そういった要望がこの中に出てきていないのね。甚だ。なんか寂しなあと感じですが。少なくとも図書館を作るにあたっては日本で論議されている最新の課題についてこう検討されてこうするこういう施設になったという所を言って欲しかった。生涯学習ということで、ビジネス支援、もう一つはレファレンス機能がないといけないと。そうするとおのずと設備として現状の図書だけを提供するでは成り立たないという事でハイブリット図書館ということが踏み込んで取り沙汰されている。そういう検討を是非して頂きたい。

〔意見〕

三郷では図書館もそうだが、児童館にもすごく力を入れて考えた。急がなくてもいいというご意見を頂いたが、三郷では何十年も先輩方が検討委員会をやってまた上手くいかなくてということが繰り返されてきた。今回最後の力をふりしぼってお願いして、ここまで来ましてとても感謝している。私達子どもを持つ親としては本当に明日にでも着工して頂きたい気持ちがある。学校の裏の建設予定地が休耕田になった時、「来年の夏休みは児童館に行けるといいね」と意見がある。是非是非検討して頂きたい。

（説明）

児童館につきましては報告書案にも「早急に設備すべきとした」と盛り込まれている。早くできるのではないかと思う。

〔意見〕

いろいろな問題点を沢山抱えての中での建設だと思う。私も地域審議会で長いことこの件にかかわってまいった。あくまでもこれはまちづくりで、安曇野市をどうしていくかという事を前提に考えて頂きたいと思う。浜松の方に図書館ができたが、これは成功している。こういう建て方もひとつの方法だと思う。地域に根ざしたものであるという事になると、発言した人間と行動した人間が同じ人であって欲しい。発言したからには責任をとってほしい。それが本来の姿だと思う。みんなで協働してやっていく。明科なんか素晴らしいと思う。材料を支給して住民がみんなで直す。あれが協働ではないか。

〔意見〕

一生懸命勉強する子ども達の姿をよく見かける。子ども達がそう思うような、それを見た大人がいいなと思うような、そういう場が欲しいなといつも思っていた。今、全ての図書館に多目的ホールがついているが、より皆が勉強できる施設と考えると、多目的ホールよりも学習に使えるスペースが多い方がいいと考えている。映画の上映とありましたが今使用しているふれあいホールや公民館ホールがあるし、学校の体育館を使ってもいいと思う。広い場所はそんなに必要ないのではと思うが。地域毎に必要なか。その辺を聞きたい。

〔意見〕

その件につきましては一番最後まで議論が飛び交っていた。その施設を有効に使って頂くために必要な最小限の大きさを決めている。施設にとって必要なホールと考えた。ただし音楽ホールとなりますと他の使い方ができないので、検討委員会が建設委員会になった時もその点は申し伝えておきたいと思う。

〔意見〕

私は、図書館は是非広い大きい新しいものを作って頂きたいという意見。豊科の図書館は後ろに人が通れませんが、ちょっと利用価値がない。学生さんが机で勉強していたが、学習室と閲覧室が一緒ではちょっと不味いと思う。ひとつ、広い、いい図書館を作って頂きたい。もう一点は、24頁「図書館と児童館とが複合されているが、それが利用者にとってマイナスになっていない」、三郷の頁の④「図書館、児童館という本来併設させたくない施設を整備し、特に児童館早急にという事であれば、同じ敷地内に分棟する方法も検討すべき」と書いてある。私は、松本でこういう所でおつとめになっていた先生が絶対にこれは一緒に作るべきじゃないと、聞き、ちょっとその辺がどういう議論だったのかお知らせ頂きたいと思う。

〔説明〕

24頁だが、明科は割と上手くいっている。工夫されている。三郷とは規模が違う。棟を別にすればいいという意見で盛り込まれておられると思う。企画運営している方々が素晴らしく上手く運営して下さっている。これからの参考になろうかと思う。

〔意見〕

豊科が図書館を作るという話し、もう十年位前だったかしら、それを聞いて楽しみに待っていたんが、ここにきてまた市になってまた遅れて。是非早く作って欲しい。私としては静かな図書館を作って頂きたいとお願いしたい。中央図書館は予算の面で大切だと思うが、閉架書庫、そんな点で書庫が3,000ではちょっと少ないのではないかな。これは各地区の歴史のある図書があると思う。そんな点も充分検討して頂いて、子ども達の為にもなる図書館を早く建設して頂きたいと思う。

〔意見〕

移動図書館について、これは削られるべきものなのか。

〔説明〕

検討委員会の報告の中では廃止、但し代案となる措置をきちんと考えるとなっている。

〔意見〕

22頁資料保存機能×となっているが、デジタルアーカイブなはずなのでそれが×という事はそれを集約して中央図書館にもっていくか。

〔説明〕

先程のご質問にも関係したが、基本的にはそういう考え方。ある程度のは保管できるが、歴史的な部分・資料については中央図書館の方に集中して管理するシステムにしたいと考えている。

〔意見〕

希望としては資料保存の中にも地域にあった方がいいと思えるものは残して頂きたいと思う。戻って、感じている所は、豊科は図書館と美術館機能を併設するというが、美術館は市外の余所から来られる方々も当然来館者として想定しないとイケない。図書館は地域住民の方々が日常的に使うものだと思うが、それを併設するメリット・デメリットを説明して欲しい。

(説明)

複合のメリット・デメリットには両方あると思う。検討委員会の中でも複合の是非については随分ご議論頂いた。最終的なこの報告書案は委員全員の方が同意して頂いた内容。デメリットもあるが、先程のひまわりの例のように、設計での配慮の仕方、スタッフの皆さんの研修・運用の仕方、市民の皆さんにご迷惑がわからないような運営をしてメリットの方を強調して進めていきたい。

[意見]

最初から、美術館の補完にというのがひっかかる。すごく違和感がある。

[意見]

文化財の方の議題だが、私は明科にいた頃から旧東川手村の旧役場の建物の寄贈を是非お願いしたい。

(説明)

申し訳ございませんが、報告書案の件についてです。

2. 検討委員会各委員からあいさつ

(説明)

今日は全委員が揃っている訳ではあるが、自己紹介を兼ねて一言挨拶をさせて頂きたいと思う。

(委員)

皆さん長時間ありがとうございました。貴重なご意見また参考にさせて頂きながら再度検討にのせたいと思う。今日、協働という言葉が幾つか出まして、市の答申というか報告書をまとめる中で直接関わらない部分のご意見も出ていましたが敢えて私口を挟んでいない。まちづくり推進の方私が担当。別途課題があれば声をかけて頂きたいと、機会がございますので、よろしくをお願いします。

(委員)

豊科での貴重なご意見、大変参考になる。これから生かしていきたいと思う。本当に大変なのはこれからです。皆さんと共に一步一步進めていかればいかなと思う。形も大事ですが一番大事なのは使う人の心だと思ふ。

(委員)

市民に開かれた形の検討委員会にしていくというコンセプトは、事務局の方が最初から持っておられて、検討委員会が話し合いをして、最初はなかなかまとまっていかなかったが最後は非常に民主的にまとまったと思う。反対意見でも納得できる形でもってまとまった。それを自信もってお伝えしたいと思う。

(委員)

この会議に、作るはいいけど壊すだけの箱モノを作って欲しくないという思いで参画した。建物は作って完成ではないと思っている。そこに住む人や使う人がいてそこでやると建物が評価できると思う。是非これからこの安曇野市に思いやりに溢れた温かい人達が沢山であることを祈っている。

(委員)

今、委員さんから民主的な運営をしてくれたと発言してもらい嬉しく思ったが、事務局が震え上がるような発言をされる方もいた。改めて見させて頂いてよかったなと感謝している。

(委員)

三郷地区としましては、今回のこういう話し合いが本当に最初は大変もどかしく感じた。早急に欲しいという願いを背負ってきたから、もう一度検討するという事がもどかしく思ったが、回を重ねる毎に皆さんの意見をお聞きして、安曇野市の中の一地区としてよりよいものができあがっていく、安曇野市全体にしましてもよいものができあがると期待している。

(委員)

この委員会に公募で入った訳だが、私の考えとしまして、施設は全ての人が使えらるべきと考えた。今日福祉の分野で障害のある人が地域に暮らすようにという施策が推進されてきた。しかし地域で暮らしていても結局行く場所が無いのが現実。出ていかなければみなさんの目にも触れないということも考えて、であるならばひとりでも多くの障害のある人が行けるようにすることが仕事に対しての意識の変化になると私は考えている。その為にこの委員会で活動をして参った。

3. 今後のスケジュールについて

(説明)

本日頂いたご意見は必ずや参考にさせていただくことをお約束する。ありがとうございました。

4. 閉会

以上をもちまして安曇野市交流学習センター施設検討委員会公聴会を閉じさせて頂く。本日は本当にありがとうございました。